

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																															
東京ブライダル専門学校		平成24年10月30日		内菌 幸一		〒 164-8550 (住所) 東京都中野区東中野3-17-11 (電話) 03-3360-4621																															
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																															
学校法人 トラベルジャーナル学園		昭和55年3月10日		森谷 博		〒 164-8550 (住所) 東京都中野区東中野3-18-11 (電話) 03-3360-4621																															
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																															
文化・教養	文化教養専門課程	ブライダル科		平成26年度	-	平成26年度																															
学科の目的	ブライダルをはじめ関連するサービスに係る専門分野において必要な知識・技能の習得により有能かつ豊かな教養を備えた気力ある社会人を育成することを目的とする。																																				
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	ウェディングプランナーやドレスコーディネーター、フローリストなどブライダル業界に関わる職種を幅広く学ぶ総合学科であることが本校の特徴。在学中は、国家資格ブライドルコーディネーター検定3級をはじめ、手話技能検定4級の合格を目指すこともできる。進路変更や体調不良などの理由による中退率は7%。																																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																														
2年	昼	※単位数時間、単位いづれかに記入 1,680 単位数時間 単位	720 単位数時間 単位	30 単位数時間 単位	240 単位数時間 単位	0 単位数時間 単位	690 単位数時間 単位																														
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)																																	
240人	199人	0人		0%																																	
就職等の状況	■卒業者数(C) : 87人 ■就職希望者数(D) : 82人 ■就職者数(E) : 82人 ■地元就職者数(F) : 65人 ■就職率(E/D) : 94% ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 79% ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 94% ■進学者数 : 1人 ■その他 アルバイト継続4人 (令和5年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (株)八芳園、(株)テイクアンドグヴ・ニーズ、(株)ベストブライダル、(株)曾我、ミリアルリゾートホテルズ、(株)フォーシスアンドカンパニー等																																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL																																				
当該学科のホームページURL	https://tokyo-bridal.ac.jp/																																				
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位数による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>1,680 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>300 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,680 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>300 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>240 単位数時間</td></tr> </table> (B: 単位数による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr> </table>									総授業時数	1,680 単位数時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	300 単位数時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数時間	うち必修授業時数	1,680 単位数時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	300 単位数時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	240 単位数時間	総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位
総授業時数	1,680 単位数時間																																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	300 単位数時間																																				
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数時間																																				
うち必修授業時数	1,680 単位数時間																																				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	300 単位数時間																																				
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数時間																																				
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	240 単位数時間																																				
総授業時数	単位																																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																																				
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																																				
うち必修授業時数	単位																																				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																																				
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																																				
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																																				
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等に於いてその担当する教育等に従事した者であつて、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td>5人</td> </tr> </table>									① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等に於いてその担当する教育等に従事した者であつて、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1人	計	5人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	5人														
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等に於いてその担当する教育等に従事した者であつて、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3人																																				
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人																																				
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	人																																				
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	人																																				
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1人																																				
計	5人																																				
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	5人																																				

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 本学の教育課程を客観的に検証し、意見や指摘を受け、それらを教育課程に反映し、即戦力となり得る実務知識や技術技能の教授を行い、業界の発展に必要な人材の育成に寄与する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
 学校長直轄の委員会であり、本学教務部にて編成された教育課程に対し、業界や企業の知見をもってアドバイスや指摘、修正、追認を行う。委員会による決議は部署長会議による検討を経たのち、各学科会議にてより具体化しカリキュラムに反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐々木 修司	西鉄旅行株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
佐々木 啓安	ビッグホリデー株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
増田 武	株式会社エアトリ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
佐々木 圭	株式会社パレスホテル	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
村元 敬洋	日本ホテル株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
松村 晋祐	株式会社パークタワーホテル パーク ハイアット 東京	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
関 理恵	ANAエアポートサービス株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
高柳 美樹	株式会社JALスカイ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
原 康隆	スカイマーク株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
藤原 健太郎	株式会社JALグランドサービス	令和5年8月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
西田 淳一	一般財団法人みんなの外国語検定協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	①
田中 啓子	株式会社やる気スイッチキャリア	令和5年8月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
松本 隆司	一般社団法人日本外航客船協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	①
青木 康司	株式会社よみうりランド	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
松島 健太郎	株式会社東京ドーム	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
大澤 東光	CAセガジョイポリス株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
吉田 綾子	株式会社ツカダ・グローバルホールディング	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
酒井 雅弘	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
剣持 英樹	株式会社BP	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
岩井 雄紀	株式会社ノバレーゼ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
遠藤 陽平	東武鉄道株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
宮崎 滋	一般財団法人横浜市交通局協会の	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(2月、7月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年2月27、3月6日 1部15:00～16:15 2部16:45～17:30

第2回 令和5年7月3日、10日 1部15:00～15:30 2部15:50～17:20

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

ブライダルの知識だけではなく、報告書作成など、どのような仕事を指すことになっても必要なOAスキル強化が今後の検討課題。現在は、特別授業内で実施。プランナー職として、年上の新郎新婦様とコミュニケーションすることが多いため、年長者とコミュニケーションが取れる機会を増やしていくことも今後検討。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により、ブライダル関連企業で業務に携わることで、学生の就業意欲を高めると同時に、就業時に即戦力として働ける能力を育成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

①専門科目授業への参画／ブライダルワークセッション、セールスプロモーション、ライフワークバランスコーチング、表現力の授業において、業界で活躍している方を講師として招聘

②成果発表への参画／セールススキルコンテストへの参観、審査員

③企業実習への協力／結婚式場における実務経験をさせるための実習、インターンシップ

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
セールスプロモーション	新規接客のロールプレイング学習を通じて、お客様へ商品を販売し利益をあげるための仕組みを理解し、アイデアを形にして企画にする方法を学ぶ。	株式会社アイ・ケイ・ケイ、株式会社ノバレーゼ、株式会社丸三屋、株式会社Pacific Diner Serviceなど
ブライダルワークセッション	複数の業界企業から講師を招聘し、体験に基づいた現場事例を元にグループごとに対応策や解決策を討議、プレゼンテーションを行う。	株式会社スタイルズ、株式会社ベストブライダル、株式会社パレスホテル、プリモ・ジャパン株式会社など
企業実習	結婚式場におけるゲスト案内、披露宴の進行補助、飲食接客サービスを週末の土曜、日曜日に実習する。	アイ・ケイ・ケイ株式会社、アニヴェルセル株式会社、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ、株式会社八芳園など

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員の組織体制については、教員の専門性や実務経験、取得資格等についても教育上有効に機能させるため適切な配置を考え学科毎に教員の所属を区分し、教育カリキュラムの運営や学生指導にあたっている。職業実践的な教育に対し、質の向上をはかるためには、一人一人の教員の専門性向上および教育に対する意識の向上が必要であり、企業等の外部と連携を図り、積極的に研修の機会を設けることが重要と考えている。研修については「研修等に関する諸規定」を定め、教職員の能力開発、資質向上のための研修に取り組んで行く。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	魅力付け研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和4年8月4日(木)、5日(金)	対象:	全教職員
内容	学科魅力付けのための新しい教育のあり方について検討および発表を行う		
研修名:	イノベーション研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和4年4月22日(金)、6月22日(水)、 9月16日(金)、11月25日(金) ※合計4回実施	対象:	プライダル科専任講師
内容	イノベーションの基本理解および実践的なスキルを習得する。また自己の課題を明確にし、今後の事業革新・改善につなげる。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	カウンセリング研修	連携企業等:	APC朝日バーソナリティセンター付属心理教育学院
期間:	令和4年 7月6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水)、 8月3日(水)、10日(水)、17日(水)、31日(水)、 10月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)、 11月2日(水)、9日(水)、16日(水)、30日(水) 12月7日(水)、14日(水) ※合計18回実施	対象:	プライダル科専任講師
内容	学生対応・相談や個別面談等での対応力向上のプログラム		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	魅力付け研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和5年8月22日(火)、23日(水)	対象:	全教職員
内容	学科魅力付けのための新しい教育のあり方について検討および発表を行う		
研修名:	イノベーション研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和5年4月21日(金)、6月23日(金)、 9月14日(木)、12月15日(金) ※合計4回実施	対象:	プライダル科専任講師
内容	イノベーションの基本理解および実践的なスキルを習得する。また自己の課題を明確にし、今後の事業革新・改善につなげる。		
研修名:	サンフランシスコ・シアトル研修	連携企業等:	TRAJAL USA INC.
期間:	令和5年7月20日(木)～7月28日(金)	対象:	プライダル科専任講師
内容	国際人教育の推進を目的として、異文化学習、英会話学習、学生の留学先視察を行った。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	カウンセリング研修	連携企業等:	APC朝日バーソナリティセンター付属心理教育学院
期間:	令和5年度 10月4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)、 11月1日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)、 12月6日(水)、13日(水)、 1月10日(水)、17日(水)、24日(水)、 2月14日(水)、21日(水)、28日(水)、3月6日(水)、13日(水) ※合計18回実施予定	対象:	プライダル科専任講師
内容	学生対応・相談や個別面談等での対応力向上のプログラム		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学の教育行為を客観的に検証評価し、改善点を見出し、教育機関として特色のある学校づくりに取り組み、有為の人材を業界に送り出し、業界の発展に貢献する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念 目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

○学修成果

卒業生の社会的な活躍及び評価の把握と卒業後のキャリア形成への把握に関しアドバイスを受けた。そのため、卒業生に関しては、同窓会の活用、および学科に特化した意見などの把握のために、定期的に卒業生からの意見交換の場を設け改善を図ることとした。

○学生支援

本学には学生の体調管理など保健に関する専門的知識を有する職員はいないが、精神的なケアに対してはカウンセラー研修を全教職員対象に受講、資格取得を義務付け、その対応とした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐々木 修司	西鉄旅行株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
佐々木 啓安	ビッグホリデー株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
増田 武	株式会社エアトリ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
佐々木 圭	株式会社パレスホテル	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
村元 敬洋	日本ホテル株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
松村 晋祐	株式会社パークタワーホテル パーク ハイアット 東京	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
関 理恵	ANAエアポートサービス株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
高柳 美樹	株式会社JALスカイ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
原 康隆	スカイマーク株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
藤原 健太郎	株式会社JALグランドサービス	令和5年8月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
西田 淳一	一般財団法人みんなの外国語検定協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
田中 啓子	株式会社やる気スイッチキャリア	令和5年8月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
松本 隆司	一般社団法人日本外航客船協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
青木 康司	株式会社よみうりランド	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
松島 健太郎	株式会社東京ドーム	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
大澤 東光	CAセガジョイポリス株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
吉田 綾子	株式会社ツカダ・グローバルホールディング	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員

酒井 雅弘	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
剣持 英樹	株式会社BP	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
岩井 雄紀	株式会社ノバレーゼ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
遠藤 陽平	東武鉄道株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
宮崎 滋	一般財団法人横浜市交通局協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 ホームページ URL: https://tokyo-bridal.ac.jp/ 公表時期: 令和6年1月12日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページでの情報提供を主とし、企業と連携した様々な教育活動への協力依頼ならびに求人依頼の企業訪問時に適宜説明する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校案内
(2)各学科等の教育	学科紹介
(3)教職員	学科紹介、教職員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職、企業採用担当の皆様へ
(5)様々な教育活動・教育環境	学科紹介、学校案内、キャンパスライフ
(6)学生の生活支援	経済サポート
(7)学生納付金・修学支援	経済サポート、募集要項
(8)学校の財務	財務諸表
(9)学校評価	学校関係者評価
(10)国際連携の状況	海外留学、海外インターンシップ
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ
URL: <https://tokyo-bridal.ac.jp/>
公表時期: 令和6年1月12日

授業科目等の概要

文化教養専門課程 ブライダル科															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ホスピタリティ・SDGs研究	ホスピタリティマインド、SDGsという2つのテーマに沿ってホスピタリティの具現化について考察を深めます	1前	30	2	○			○	○		
2	○			業界英会話	各業界で使用する英単語・英語フレーズを学びます	1通	60	4	△			○			○
3	○			キャリアガイダンス	自身のキャリアプランを考えるとともに、就職活動に対応できる能力を養います	1通	60	4	○			△	○		○
4	○			ビジネスプレゼンテーション(BTS)	社会人として必要なプレゼンテーション能力の基礎を学びます。	1通	60	4	△			○	○		○
5	○			ブライダル産業知識	ブライダルについて国家検定テキストを元に学び、基礎知識・検定取得を目指す	1通	60	4	○				○		○
6	○			ブライダル業界研究	ブライダル業界の特徴、職種について理解し、自身が目指す職種や企業を明確にする	1前	30	2	○				○		○
7	○			ブライダルワークセッション	現場でおこる事例を元にディスカッションを行い、対応力の幅を広げる（企業タイアップ）	1後	30	2	○				○		○
8	○			バリエーションウェディング	市場動向に合わせた結婚式のあり方、価値観の変化を学び提案の幅を広げる。（LGBT、SDGs、オンライン結婚式、フォト婚、宗教、ダイバーシティなど）	2後	30	2	○				○		○
9	○			キャリアガイダンスⅡ	ブライダル業界に於いての面接・書類対策や自己分析を行う（キャリアガイダンスとすみ分けて授業実施）	1後 2前	60	4	○				○		○
10	○			プロジェクトマネジメント	結婚式における組織運営および、スケジュール管理、時間管理を学び、チームで円滑にプロジェクトを進めるスキル習得を目指す	1通 2通	120	8	○				○		○
11	○			イベントプランニング	ウェディングプランナーとしてコミュニケーションの取り方、接客方法を学ぶ。また結婚式の作り方やコンセプトメイキング手法のスキル習得を目指す	1通 2通	120	8	△				○	○	○
12	○			婚礼宴会サービス	結婚式全般の実務を学び、挙式から披露宴まで一連の施行が出来るようになる。また1年次前期は企業実習に向けた料飲サービスの基礎を学ぶ	1通 2通	120	8					○	○	○

13	○		ブライダル発表会	業界人を招き、テーマに合わせたプレゼンテーション・ショーを行う	2後	60	4	△		○	○	○					
14	○		セールスプロモーション	業界マーケットを学び、損益計算書を含めた組織の経営の仕組みを理解。新規接客の流れを理解し、個人接客を完結出来るようになる。集大成として業界人が審査を行うコンテストを実施	1後 2前	60	4	△		○	○	○					○
15	○		接客スキルトレーニング	アイスブレイク・ヒアリングの方法含め、お客様の仕草・表情などの変化を汲み取り潜在的な要望を引き出す接客力を身につける	2前	30	2			○	○	○					
16	○		ボイストレーニング	言葉を使い届ける技法を学ぶ（言語／発声・抑揚・熱量）	1前	30	2			○	○						○
17	○		所作・ウォーキングレッスン	言葉以外で届ける技法を学ぶ（非言語／表情・所作・印象付け）	1前	30	2			○	○						○
18	○		セルフビューティ	社会人として相応しい身だしなみ（ナチュラルメイク・ヘアスタイル）を学び、自身で実施できるようになる	1前	30	2			○	○						○
19	○		表現力演習	自分自身の魅力を最大限伝えられるようになるため、様々な表現方法を学び接客のプロを演じられるようになる	1後	30	2			○	○						○
20	○		婚礼衣装	結婚式に関わる洋和装の衣装基礎知識を学び、理解を深める	1通 2前	90	6	○		○	○						○
21	○		婚礼フラワーコーディネート	結婚式に関わるフラワーの基礎知識を学び、理解を深める	1後	30	2			○	○						○
22	○		色彩基礎知識	色彩の基礎知識から、衣装や肌質などお客様へ合わせた提案ができるようになる	2前	30	2	○									○
23	○		フォトコンテスト	コンセプトの具現化をグループワークにて行う。写真撮影を通して空間コーディネートを行い作品作りを実施	2前	30	2			○	○						○
24	○		おもてなし手話	手話の基本、接客時の手話を学び、全国手話検定4級合格を目指す	2前	30	2		○		○						○
25	○		ブライダルマーケティング	エリア・時期・ターゲットを設定しマーケット分析からブライダルフェア企画までを行う	2前	30	2	○			○						○
26	○		デジタルマーケティング	ブライダル業界で行われる新たな集客方法をSNSを中心に学ぶ。ムービー、SNS、SEO、リスティングなど（企業タイアップ）	2後	30	2	○			○						○
27	○		ライフワークバランスコーチング	就職後のキャリア構築方法を学び、仕事と私生活でのバランスのとり方、メンタルケアの方法など業界で活躍している方（卒業生）をロールモデルとしてレジリエンスを軸に学ぶ	2後	30	2	○			○						○

28	○	デザインコミュニケーション	お客様のイメージをキャッチし見える化（簡単なデッサンや写真収集・編集）できるデザイン力を身につける。	2後	90	6	○		○	○			
29	○	ファッショントレンド研究	アパレル・ファッション・コスメなどの流行を学び、傾向や変化などの分析を行う	2後		6	○		○		○		
30	○	フィジカルトレーニング	ブライダル業界で働く上で必要な身体作りを学び、体力・精神力を高める。フィジカル、ヨガ、セラピスなど	2後		6			○	○	○		
31	○	日本文化研究	日本の歴史・文化・風習を改めて学び海外のお客様に対する対応の幅を広げる	2後		6	○		○		○		
32	○	海外ウェディング研究	新婚旅人気エリアを中心に海外の結婚式の文化・風習を学び接客の幅を広げる	2後		6	○		○		○		
33	○	企業実習	1年次120時間、2年次120時間 計240時間の現場実習を行う	1通 2通	240	4			○	○		○	
合計				33	科目	1680 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：①出席した授業時間数が2年次の総授業時間数の80%以上 ②修得した単位数が2年次の総単位数の80%以上 ③所定の学費を指定期日までに完納していること		1学年の学期区分	2期
履修方法：所定の授業への出席、学内試験の受験、課題提出、所定の単位取得をもって履修		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。